

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020 年 1 月 18 日

事業所名：子どもサポート教室「きらり」掛川校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	0	定員・スペース共にガイドラインの指標は満たしているが、小集団の際は希望者が多い時は狭い。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	0	0	ガイドラインの指標に加え、常時児童指導員 1 名以上の加配を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	1	室内に段差はないが、入口に段差があり、入口に面した道路に歩道がない。トイレは車椅子対応できる広さがない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	0	適時ミーティングを行い、情報共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	評価の実施はもちろん、送迎がないため、保護者さんと毎週お会いできる要素を活かし、日々の出来事や課題を聞き取り、支援に取り入れている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	HP で公開すると共に、校舎入口にも掲示している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	2	3	設置予定と聞いてはいるが、第三者評価委員会が設置されたか把握していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	なるべく全員が、仕事内容やスキルに合わせた研修に参加できるようにしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	適時アセスメントを実施し、個別支援計画に反映している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	必要に応じて wisc などを利用する道具を使用し、特性を把握できるように努めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	集団活動の内容は指導員全員で決め、準備・支援を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	どの指導員が支援に入っても支援の質が変わらないよう、内部初任者研修以外にも支援の質を高められる外部研修に参加するなど、指導員全員のスキルを上げ、固定化を防いでいる。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	0	5	0	マンツーマン療育で個別支援の特性上、本人や保護者の希望を軸に課題を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	2	1	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2	1	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	0	0	
関係機関や保護者との連携関係や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	0	掛川市がセルフプランを推奨していたため、サービス担当者会議の開催が弊社他施設に比べると少ないが、開催時には一番多く支援に入っているなど、こどもの様子に詳しい社員が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	保護者の要望に応じて、相談支援事業所に相談し、学校と連携を取っている。セルフプランの利用者には、直接学校へ連絡を取り、調整を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	5	0	重症心身障害児を対象としていないので対象者はいないが、アレルギーを持っているか、てんかん発作の有無などについて、面談時や更新時に確認をしておいた。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	0	保護者さんや学校などの要望があった時は、関係機関連携会議へ参加している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	0	5	0	昨年度までに障害福祉サービス事業所等へ移行した利用者がいない。保護者や事業所からの申し出があれば、情報提供を行う体制は整っている。

連携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	0	外部発達相談支援センターから講師を招いた事例検討会に参加したり、弊社「発達支援研究所」で開催する研修及び検討会を通じて、研修や助言を受けている。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	5	現状行えていない。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	0	内容に合わせて児発管や管理者、児童指導員が参加をしている。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	2	3	現状行えていない。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	3	2	今年度は行えていないが、『きらりカフェ』（保護者会）を不定期開催している。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2	0	会報は発行していないが、行事予定を入口に掲示すると共に、全員へおたよりを出している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	個人情報の書かれた資料やパソコンなどは、鍵の掛かる場所で校舎保管し、持ち出しも制限している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	特性に応じて、絵カードやマカトンサインなどを利用している。 また、外国籍の保護者に対して、書類に母国語やふりがなをつけている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	5	現状行えていない。
非常時	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0	避難先などは契約時に配布・説明し、入口にも掲示している。

等 の 対 応					各種マニュアルは、いつでも自由に閲覧できる状態にしている。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	毎月、様々な場面を想定した避難訓練を実施し、利用者や保護者の参加をお願いしている。結果は入口に掲示し、公表している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	毎年、研修を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	ガイドラインを作成している。 「重要項目説明書」に詳細を記載し、契約時に説明を行っている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	0	食事提供は基本的に行っていないが、契約時だけでなく、新年度ごとに保護者全員へ聞いている。 グループ活動などで市販のおやつを提供するなどの場合には、提供前に都度参加者全員にアレルギーの有無を確認している。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	報告書を作成し、回覧している。	

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」掛川校

保護者等数（児童数）： 35 回収数： 25 割合： 71%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	10	3	個別の時は良いが、小集団の時は狭い。手狭なイメージがある。もう少し広いと、体力作りの活動がしやすいと思う。→ガイドライン基準を満たすスペースを確保しておりますが、校舎全体が狭いので、安全が保たれるよう留意して日々の支援を行っています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	4	0	自分の子にはマンツーマン療育が合っているので助かる。 担当の指導員を、どのような判断で決めているのか、説明がないので疑問。→研修や事例検討会の参加などを通じて、支援の質の向上をはかり、どの指導員でも同じ水準の支援が行えるようにしているため、日々の利用状況に応じて指導員を変えています。 適切な数がわからない。→契約時に説明しておりますが、ガイドライン基準よりも多い指導員を常時配置しています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	10	8	うちは困っていないが、わからない。 歩道がなく外の入口に段差があるので、車椅子での利用は難しそう。→重心障がいをお持ちのお子様は利用対象外とさせて頂いている施設ではありますが、歩道の設置や段差の解消は物理的に困難なため、必要に応じてマンパワーを活用し対応します。 玄関のドアを修繕してほしい。→修理工事が完了しました。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	22	3	0	個別対応されている。
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	22	3	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	12	8	

保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	3	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	3	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	7	2	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	12	4	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	12	0	苦情につながる事が今までないのでわからない。 苦情を伝えるケースがあったかどうかを知らないでわからない。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	4	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	8	3	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	23	2	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	8	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	7	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	21	3	1	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	20	5	0	個人個人に合わせたプログラムで支援を行っているので、成長している感じがよくわかる。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。